

MSCの直近のターミナル拡大事例（ハチソン案件除く）

表面化時期	地域	内容
24年10月	ウォルヴィスベイ (ナミビア)	ウォルヴィスベイ港の新CT運営で、25年のコンセッションを取得
24年11月	ハイフォン (ベトナム)	越ハイフォン南部のラックフェン港で、第3・第4CTを運営する合併会社の設立で合意
24年12月	バダバン (インド)	印西岸バダバンでの新規港湾開発への参画で、ジャワハルラール・ネルー港湾公社とMOU締結
25年1月	アルタミラ (メキシコ)	墨ガルフ側アルタミラ港で多目的港を運営するIPMターミナルの買収で合意。コンセッションは2056年まで有効
25年2月	ナドール (モロッコ)	モロッコの港湾事業者マルサマロックから、ナドールウエストメドCTの株式50%マイナス1株を取得
	パティンバン (インドネシア)	パティンバン港のCT運営会社に豊田通商、サムデラインドネシアなどと共同出資。MSC子会社AGL出資比率が45%で最大